

# 黒河内浩の市議会活動報告

**第4回「市民と議会の意見交換会」を開催** 8月17日、20日、22日



毎年実施してきている市民との意見交換会も今年で第4回目となります。今年は8月の下旬に市内3会場で実施し、多くの市民の皆様に参加いただきました。ありがとうございました。

議会は市民の代表たる議員で構成されます。市民の代表である以上、市民の考え、意見を十分に把握して市政の運営に臨まなければなりません。意見交換会はそのための重要な要素であり、議会の根幹をなすものと言ってよいと思っています。

議長としても、引き続き意見交換会は実施していく決意です。市民の皆様のご理解、ご支援をいただきたいと思えます。

(8月20日)

## 議員活動

### 市長とともに、市内の4道路と4河川の整備促進を県庁で建設部長に要請

(9月13日)



### 鷹岩トンネル開通

鷹岩トンネルは、南アルプススーパー林道に向かう途中にあるトンネルで、林道バスに乗って通ったことがあると思います。ももとは、奥からの木材を運び出すための森林鉄道として使われてきました。しかし、トンネルを出た先の2つの橋が耐用年数を過ぎて危険な状態になったために新たなトンネルを創ることになりました。

総事業費は約17億です。新たなトンネルができることにより、登山口としての活用も期待され、また上流部の河川整備の促進を図ることができ、市民生活の安全安心に寄与するものと思えます。

(10月13日)



### 飯島勲内閣参与

ふるさと大使である飯島勲さんは安倍総理の信頼が厚く、首相官邸に籍を持ち、内閣の政策に進言できる立場にある人です。飯島さんとは秘書時代からの付き合いであり、秘書の大先輩でもあります。

(8月4日)



**黒河内浩 公式ホームページをごらんください。**

黒河内浩   <http://www.kurogouchi.jp/> プロフィール、活動内容 議会での様子が見ることができます。



黒河内浩後援会報

発行所：伊那市美篔上原4592-3 ☎74-88440  
発行責任者：都築透

No.16

# 市民の みなさんへ



『行く川の水はさやけく 山なみに星美しき 伊那はまほろば  
このまちに生きる喜び このまちに香る文化を とともに語らん  
このまちの平和を願い 人々の夢を託して 輝く未来へ』

冒頭の言葉は平成二十八年三月に制定した伊那市民憲章の「結び」の部分です。市民憲章の意味するところの奥の深さが感ぜられます。市民の皆様とともに今一度この言葉を吟味する趣旨で掲載させていただきました。伊那市議会も市民憲章の思いを尊重し、伊那市の向かうべき方向性について議論を深めてまいりたいと思っています。

## 議会のあるべき姿を目指して

市政を活性化し発展させるため、議会としても積極的に取り組んでいきたいと思っています。そのためにも行政とは別の立場で、市民の意見に耳を傾け、市民生活の実態をしっかりと掌握していかなければなりません。議会では毎年「市民と議会との意見交換会」を実施しています。多くの市民の皆さんから多種多様な意見を聞き、市政に活かしていきたいと思っています。それが議会の務めでもあります。今後も引き続き意見交換会を実施することは全議員で確認していますので、多くの市民の皆様のご参加をお願いします。

## 地域課題を解決する議会へ

議会ではこれまでも人口減少防止対策や体育施設のあり方等を執行権のある行政側に提言をしてきました。今後も市民との意見交換会で出された意見や、議会内の委員会で指摘された課題等に対して積極的に議員間討議を重ねていきます。そして総意が得られ、一定の方向性が出されたものに対しては政策提言を実施していきます。これまでも2つの特別委員会がまとめていただいた結果に基づいて政策提言を実施してきました。

地域が元気でなければ伊那市全体の発展はありません。議会が積極的に地域の課題を解決し地域の発展に寄与したいと考えています。市民の皆様のご理解をいただきたいと思っています。

## 輝く未来へ

今年は市議会議員選挙があり、議会構成にも変化が生じました。しかし、議会が目指すべきもの、また議会が市民から信頼されるべきものであることには何ら変わりはありません。

常に市民から信頼される議会を創るために絶え間なき努力、議会改革を継続していかなければなりません。そのためにも市民の皆様と建設的な議論を重ね、新しい伊那市を創るべく議会活動を進めていきます。

今後も議会に対してご支援、ご協力を賜ることをお願い申し上げますとともに、皆様のご多幸とご清栄を心からお祈りして議長としてのあいさついたします。

# 新ごみ中間処理施設(上伊那クリーンセンター)の竣工間近

上伊那全体の燃えるゴミを処理するための施設（名称は『上伊那クリーンセンター』）が完成まじかになりました。用地選定の議論開始から長年を経て、また工事着工から3年余りの建築工事を経て、平成31年4月の稼働開始に至りました。施設の目の前に自宅がある私にとっても感無量の思いです。建築費だけでも100億近い金額がかかった施設です。何よりも安全な施設であること、安全な運営が望まれるところであります。そのためにも近隣の関係6区で施設のための協議会が設置されていて、この組織が施設へのチェック機能を果たしていくことになります。施設については、私自身何回にもわたって現地視察も繰り返してきました。写真はそれぞれの時の状況並びに変化です。今後ご意見や質問等がありましたら私までお寄せください。



竣工間近の様子



施設の内部

2015年5月(工事着手前)



2016年1月(造成工事)



2017年3月(基礎工事)



2017年10月



2017年12月



2017年12月



## 議員活動

### 戸草ダム等の現地視察



10月に伊那谷議員連盟所属議員で宮下代議士並びに市長とともに戸草ダム計画地を視察。戸草ダムについては現在計画が中止になっていますが、昨今の災害を振り返ると治水の重要性、必要性が特に重視されています。戸草ダムについても三峰川流域は勿論のこと、天竜川流域も治水の観点から、また発電の必要性が声高に叫ばれるようになってきています。その必要性を現地で確認するとともに、美和ダムの堆砂対策事業も視察してきました。(10月26日)

### 会津まつりに出席



伊那市の友好都市とである会津若松市の会津まつりに招待され、市長とともに出席してきました。会津は保科正之公が取り持つ縁で友好都市になっていますが、まつりでは歴代市長が保科正之公に扮することになっていて、大変に高遠藩・伊那市を高く評価してくれています。写真は保科正之公を祀っている土津(はつ)神社と会津若松の鶴ヶ城をバックに会津祭りの写真です。

(9月22日)

## 雑感

**最近、伊那市でめぐり合わせた二つの事柄に、私なりに感動を覚えたので多くの皆さんにも考えていただきたい趣旨でまとめてみました。**

### 【人生の楽園】

テレビの全国放送で、長谷の黒河内の古民家で茶屋を営む夫人にスポットを当て、人生のあり方、考え方をテーマに放送されました。ご覧になった方も多いのではないかと思います。

五十代後半で、仕事を辞め、千葉から長谷の黒河内黒川(仙流荘のあるところ)へ夫婦で移住。全部で十二世帯という地域の中で、地域行事に積極的に参加を続けての生活。三年前から当地で、趣味の世界であったというワッフルとうどんを中心とする茶屋をオープン。そして二年前夫婦の共通の楽しみであった山歩きの途中で夫の不慮の死。悲しみの中でも近所の友人に助けられながら、楽しみである茶屋の存続。人生の後半における、若いころには想像もつかなかったドラマチックな出来事の繰り返し。そんな感動の人生がテレビ局により最高の編集で放送されました。

「人生の楽園」を追求する根底には、夫婦愛、夫婦の絆が何より大切であることが訴えられていたように感じました。

### 【親孝行の讃歌】

これは伊那市教育委員会が主催して、親へのメッセージを綴った思いを作文にして全国から応募を求めている事業です。長谷の柏木での民話「孝行猿」の話をもとにして、旧長谷村の時代から続けられてきた事業で、二年ごとに優秀作品を対象に授賞式を実施してきて、先日その表彰式がありました。

作品すべてに、親を思う気持ち、親への愛情があふれていて、感動しました。作品を読んでいて感じたのは、子が親を思う気持ちは、親が子を思う気持ちの裏返しであるということです。親の子に対する愛情、それを表現することは動作、このようなものがあってこそ、子は親に対して自然と愛情が湧き、無意識の中で親への孝行へ向かうということです。

親が子を思い、子が親を思う。この連鎖が人間性を育て上げていく。そんな思いです。

「人生の楽園」と「親孝行の讃歌」。そこにあるのは、夫婦と親子それを包む家庭のすべての愛情、相手を思う気持ちが、それぞれの人生の楽園へ向かわせてくれる、そんな気持ちを抱かせました。

## 後援会活動

10月17日



### 第4回浩龍会主催のゴルフコンペが10月に晴ヶ峰カントリーで開催されました。

当日は19組の参加でした。終了後の表彰式並びに懇親会は大変盛り上がり、それぞれの成績や賞品で各人が喜びを分かち合いました。



黒河内 浩 後援会

後援会事務所 / 伊那市美篤上原 4592-3

ご意見・お問い合わせ・ご入会 0265-74-8840

こうりゅうかい  
浩龍会